

## JCOG1414-A: 高齢者進行非小細胞肺がんの患者さんを対象とした肺がんによる特異的な症状(LCS: Lung Cancer Subscale)の研究

### 研究の対象

過去に日本臨床腫瘍グループ(Japan Clinical Oncology Group: JCOG)で行われた、肺がん内科グループの2つの臨床試験(JCOG0207:登録期間 2003-2006年、JCOG0803/WJOG4307L※:登録期間 2008-2010年)に登録された患者さんが対象です。また、国立がん研究センター以外の医療機関で登録された患者さんも対象としています。

※ JCOG0803/WJOG4307LはJCOGと西日本がん研究機構(West Japan Oncology Group: WJOG)との共同研究です。

### 研究の目的

この研究では、高齢者肺がんの治療に関する2つの臨床試験に登録された患者さんの情報を用います。2つの臨床試験では、治療を始める前に、肺がんによる特異的な症状(①息切れする、②体重が減っている、③思考がはっきりしている、④咳が出る、⑤健康な食欲がある、⑥胸が締め付けられる感じがする、⑦呼吸は楽である)を評価していました(Lung Cancer Subscale (LCS)といいます)。

高齢の患者さんの治療方針を決める際、現在は暦年齢と血液検査の結果からわかる体の状態から、治療を行うことができるかどうかを判断しています。しかし、暦年齢と血液検査の結果だけでは、本当はどれくらいお元気で、どれくらいの強さの治療が可能なのかを評価することは困難です。そこで、「肺がんによる特異的な症状(Lung Cancer Subscale: LCS)」がそれらの評価に有用な指標となるかどうかを把握するため、この研究を計画しました。

### 研究の意義

この研究の結果、「肺がんによる特異的な症状(Lung Cancer Subscale: LCS)」が有用な指標であることが示された場合には、治療方針を決める際の新しい客観的な指標となります。現在、肺がんの抗がん剤治療は、暦年齢によって大まかに治療方針をわけていますが、新しい客観的な指標を用いることができるようになれば、暦年齢以外の情報も利用して、より最適な治療を受けることが可能となります。

### 研究の方法

この研究は肺がんの患者さんに対して行われたJCOG0207、JCOG0803/WJOG4307Lの両試験で既に集められ、国立がん研究センター内のJCOGデータセンターに保管されている患者さんの臨床情報(がんの進行度や治療経過など)を用いて行います。本研究によって、新たな受診や検査など、患者さんに対する新たな負担は生じません。

### **研究機関名**

当施設を含め、JCOG0207 と JCOG0803/WJOG4307L に参加された全国の医療機関の患者さんを対象とし、統計解析は国立がん研究センター内の JCOG データセンターで行います。

### **利益相反**

この研究は特定の薬剤や治療法を用いた研究ではありませんので、研究代表者、研究事務局に、開示の必要のある利益相反はありません。

### **個人情報に対する配慮**

この研究で用いる患者さんの個人情報は匿名化され、個人が特定されることはありません。また、個人が特定されるような情報は一切公表しません。上記の研究対象に該当する患者さんで、ご自身の臨床情報を本研究に使わないで欲しい、というご希望があれば、担当医師あるいは以下の連絡先までご相談下さい。

### **問い合わせや苦情の窓口連絡先**

国立がん研究センター 研究支援センター 水谷 友紀

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL: 03-3547-1002/FAX: 03-3547-1002